

日本生協連は「RSPO（持続可能なパーム油のための円卓会議）」に加盟 ～日本の流通業として初～



日本生活協同組合連合会（略称：日本生協連、代表理事会長：本田英一）は、持続可能な原材料の調達の一環として、2017年10月25日、RSPO（持続可能なパーム油のための円卓会議）に加盟しました。これは、日本の流通業として初です。

パーム油は、アブラヤシの果実から得られる植物油です。生産性が高く、世界の食糧需要の増加に貢献しており、食品・日用品・化粧品など、幅広い商品に使用されています。一方、気候変動への脅威、生物多様性の喪失、労働者や子供の権利侵害など、多くの課題を抱えた状況で生産されているという現実があります。

日本生協連では環境に配慮したパーム油の調達が大きな課題と認識されてきている中で、RSPO 認証油の調達・利用を通じ、環境への影響低減や持続可能な社会づくりに貢献できると考え、このたび加盟（申請）することといたしました。

日本生協連はRSPO 加盟にあたり、次の3点をコミットメントとして取り組みます。

日本生協連のコミットメント

日本生協連は、持続可能なパーム油調達の一環としてRSPOに加盟し、認証パーム油の調達を行います。

- (1) 2017年度中に、コープ商品（プライベートブランド）のうち、すべての食品についてB&C（ブックアンドクレーム）により認証パーム油への切り替えを進めます。
- (2) 2018年度中に、MB（マスバランス）認証パーム油を使用した石鹸、化粧品の供給を開始します。
- (3) 2020年までに、コープ商品（プライベートブランド）全体について、B&C（ブックアンドクレーム）、MB（マスバランス）方式により認証パーム油への切り替えを進めます。

■RSPO（持続可能なパーム油のための円卓会議）とは

RSPO：Roundtable on Sustainable Palm Oilの略称。

環境配慮した持続可能なパーム油を求める世界的な声の高まりに応え、パーム油生産業、小売業、環境NGOなど、7つの関係団体が中心となり2004年に設立された非営利組織。

世界的に信頼される認証基準の策定とステークホルダーの参加を通じ、持続可能なパーム油の生産と利用を促進することを目的としています。

現在世界の加盟数は約3,500団体、日本では約70団体。日本生協連の子会社コープグリーンも2006年に加盟しています。



3-0098-17-000-00

日本生協連は、今後も持続可能なパーム油の使用をはじめ、環境・地域・社会・人に配慮した商品開発を進め、会員生協・組合員とともにエシカル消費の取り組み拡大に努めてまいります。

<本件に関するお問い合わせ先>

日本生協連 広報部

TEL：03-5778-8106

ご参考：《RSPO 3つの認証モデルと1つの証券化モデル》

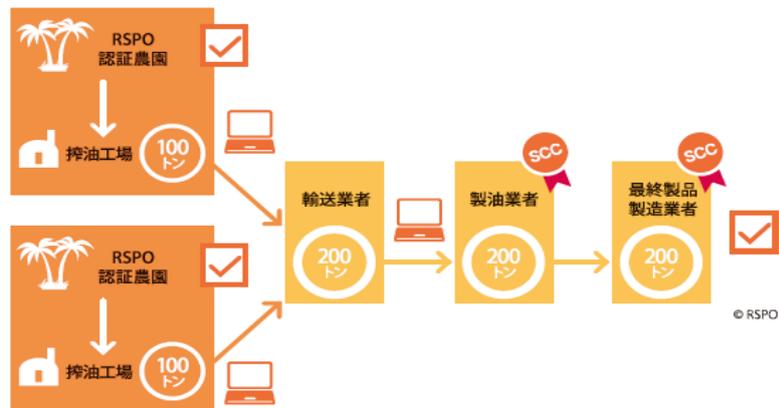
パーム油の複雑なサプライチェーンを反映して、3つの認証モデルと1つの証券化モデルがあります。

アイデンティティ・プリザーブド（IP）



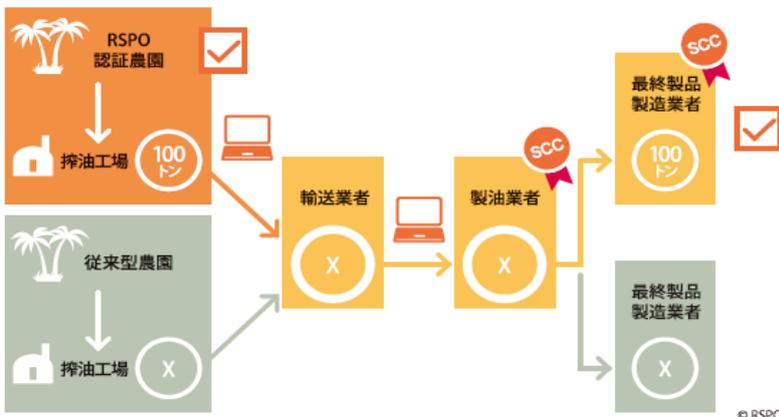
認証された生産現場から最終製品製造段階に至るまで完全に他のパーム油と隔離され、どの生産農園から得られたのかが特定できる認証モデルです。

セグリゲーション（SG）



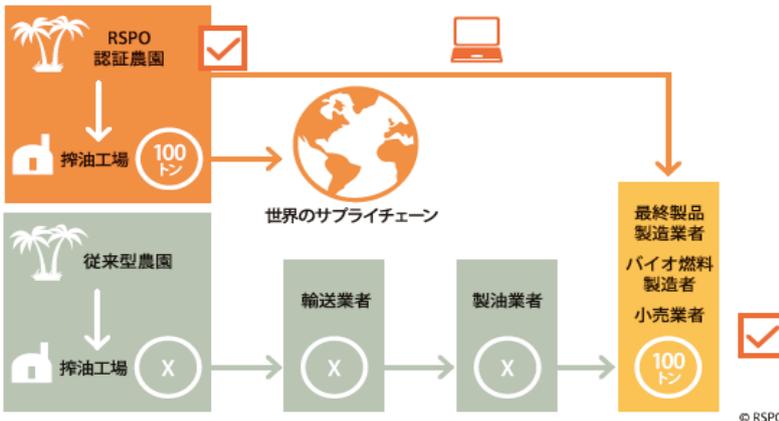
複数の認証された農園から得られた認証パーム油からなり、他の非認証パーム油とは混ぜ合わされることなく、認証油だけで最終製造者まで受け渡される認証モデルです。生産農園を一つに特定できませんが、認証農園から生産された原料であることが保証されます。

マスバランス（MB）



認証農園からの認証油が流過程で他の非認証油と混合される認証モデルです。物理的には非認証油も含んではいませんが、購入した認証農園とその数量は保証されます。

ブックアンドクレーム（B&C）



物理的な認証油の移動を伴う3つの方式とは異なり、グリーンパーム・プログラムのもとで認証油の証券が生産者と最終製品製造者、販売者との間でオンライン取引されるモデルで、グリーン電力類似の方式といえます。これによりサプライチェーンの認証油流通体制が未整備で調達困難な場合でも、認証生産者を直接的に支援することが可能になります。ただし、この方式は将来的に認証油だけの取引が可能になるまでの間の暫定的な仕組みとして位置づけられています。